

相生山病院外来担当医師表

外来診療責任者 副院長 鈴木 満

診療時間	診察室	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	外来	1診	林	鈴木	町田	松浦	池田
		2診	小崎	川畑	【予約診療】 佐藤(貴)	蛭川	【予約診療】 佐藤(貴)
		3診	橋本	服部 リハビリ外来	服部 リハビリ外来	中前 リハビリ外来	服部 リハビリ外来
	内視鏡	松浦			村島	松浦	【予約診療】 心臓工コー: 岩瀬
14:00~16:00	専門外来	内視鏡 松浦 ポトックス外来 服部	糖尿病内科 蛭川		胃腸増設 殿村 摂食・嚥下外来 服部	内視鏡 松浦	
17:00~19:00	夜外来	町田	殿村	鈴木	蛭川	村手	

急患の方はいつでも診察いたします。

2025年度 糖尿病教室

日時 10月15日(水) 14:30~

『栄養バランス
あなたはどっち?』

講師:栄養士・蛭川医師



日時 12月15日(水) 14:30~

『運動でどのくらいカロリー
消費できる!?』

講師:理学療法士・蛭川医師



お知らせ

ホームページを リニューアルしました!

この度、ホームページを全面的にリニューアルいたしました。より使いやすいホームページを目指して、デザインとページの構成を見直しています。ぜひご覧ください。

<https://www.aioiyama.or.jp/>



『健康になってちょ!』
講演会とボランティアは
しばらくの間、中止とさせていただきます。

再開を楽しみに
お待ちください。

講演会やボランティア参加のお問い合わせは
TEL(052)878-3711へ
お電話ください。

ご自由
にお取
り
ください

相生山病院

ニュース

2026
冬号
第68号



●編集/医療法人 清水会 相生山病院広報委員会●名古屋市長区藤塚三丁目2704番地 TEL (052) 878-3711●<https://www.aioiyama.or.jp/>

2026年 新年のご挨拶



バリ山行

相生山病院院長 佐藤 貴久

皆様、新年あけましておめでとうございます。

コロナが空け、高市政権が発足したことで新しい日本の在り方が期待されています。更なる希望を抱きつつ、お正月はゆっくり過ごすことができたのではないのでしょうか。いつも新年のご挨拶では大層なお話をさせて頂くことが多いのですが、今回は私の趣味について記載したいと思います。

皆様、「バリ山行」という本をご存じでしょうか? 松永K三蔵氏の著書で2024年上半期の芥川賞を受賞され有名となった本です。

「バリ」とは登山のバリエーションルート(一般登山道ではない難易度の高い登山道)のことで、「山行」とは登山による体験を意味します。主人公の羽多が登山を始め、会社の上司で変わり者の妻鹿さんがバリ山行をしていることを知ります。会社経営が不振な現実の中、妻鹿さんにバリ山行に連れて行ってもらいますが、バリは想像以上に危険な個所が多く、羽多は滑落して死にそうになってしまいます。誰もいない静かな空間に居ることの素晴らしさを説く妻鹿さんに対し、羽多は遊びで死にそうになったことへの怒りを妻鹿さんにぶつけてしまい後悔します。しかし謝ることができないまま妻鹿さんは会社を辞めてしまったため、妻鹿さんに再会できる僅かな希望を抱きつつ、羽多もバリ山行を始め、バリ山行の素晴らしさを理解し、のめり込んでいくという内容です。忘年会で山行をされている方からこの本のことをお聞きし、早速購入しました。

なぜなら、実は私も2024年秋から登山を始め、三重県の御在所岳を中心に山行を、特にバリ山行を楽しんでいたからです。

御在所岳には中登山道、裏登山道、一の谷新道という3つの正規ルートの他、本谷ルート、大黒尾根、富士見尾根、ヴァンフェラータ(鉄の道)、後尾根、藤内沢などといったバリエーションルートがあります。



バリエーションルートはいずれも危険な個所があり、三重県で登山者が最も多い御在所岳にも関わらず人に会うことは殆どありません。危険個所がある代わりに静かな空間と尾根からの絶景というご褒美があります。

羽多の環境は、病院経営という現実がある中でバリ山行という異質の命がけの体験をする私と全く同じで共感が持

て、羽多の気持ちも妻鹿さんの気持ちもよくわかるので、とても考えさせられました。正直登山を始める前は、登山がこんなにも危険で、毎年多くの方が登山中に滑落死していることを知りませんでした。御在所岳でも一の谷新道という正規ルートにも関わらず、年末の1か月で3人の方が滑落死されています。私もバリ山行を楽しんでいますが、しばしば一人で行くのは危険だとご忠告を頂きます。全くその通りだと思いますが、一緒に行った方が滑落死する危険があるため、バリの際はとても人を誘うことなどできないと思っていました。

そのような中、2025年10月19日に一人でバリ山行を行っていたところ、全ての難所を通過した後のただの急坂で濡れ木に足を滑らせ転倒し、右足関節外果骨折+内果骨折を受傷してしまいました。当初手術を行わず保存的に診るつもりでしたが、整形外科医の友達の勧めで10月27日に手術を行いました。経過は順調で手術してくれたことに心より感謝しています。また滑落ではなくただの転倒で本当に良かったと思います。主治医から術後3か月間は登山を禁止されているため、今は山行を楽しむことはできませんが、登山が可能になったらもう少し安全なところで山行を楽しみたいと思います。山頂からの絶景は感動的で、自然への感謝、生きていることへの感謝の気持ちが自然と湧きあがり、高揚感が満たされます。山の魅力はここでは十分に言い表せないほど素晴らしいものです。

これからも山行を楽しまれる方も多いと思いますが、怪我には十分に注意をして行っていただければと思います。本年が皆様にとって素晴らしい年になりますことを心から祈念しております。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

